

視察報告書

1 視察日時 令和7年10月9日（木） 10時00分～12時00分

2 視察先 笠岡市役所「財政健全化プランについて」
「DX推進計画について」

3 視察目的 所管事務の調査にあたり、他市の取組を確認

4 視察参加者 ・安藤 利博 ・松田 勲 ・実盛 祥五
・大口 浩志 ・中田 浩二 ・田村 勝

5 視察概要

①「財政健全化プランについて」の作成経緯と、その後の進捗状況についての説明を受けた。

②「DX推進計画・アクションプランについて」の内容、進捗状況についての説明を受けた。

6 所 感

昨年、新市長が就任されてから僅か半年で「財政健全化プラン」を発表されたスピード感に驚いていた上に、現在全国の自治体で進められている20業務のシステム標準化について、岡山県下15市でトップの進捗状況にある背景を調べる目的で視察先に選んだ。

①厳しい財政状況は担当課でも認識しており、事業見直しを検討していたところへ、岡山県で財政健全化の取り組みに携わっていた副市長の就任を得て、プラン作成を推進したとのこと。

約40か所での市民説明会に担当課が同行したのは大規模会場3か所のみで、あとは市長自らが説明を行ったとのこと、財政健全化に対する市長の意気込み、リーダーシップが伺われた。

補助金削減、職員人件費等の適正化に対する反発もあるが、10月1日に「中期財政見通し及び財政健全化プランの進捗状況」を発表し、状況としては依然として厳しいが、健全化への道筋が見えてきたとのこと。

財政状況が厳しいのは赤磐市でも同様であり、補助金、イベントの見直しなど見習うべきところも多くあった。

②令和6年度にデジタル推進課が属する政策部に「地方公共団体のデジタル人材の確保に係る地方財政措置」を活用してCIO補佐官（デジタル政策監）を採用されたとのこと。20業務のシステム標準化について県下15市でトップの進捗率になっているのもこのような専門家の助言があったのかと納得できた。

マイナンバーカードを利用したサービス、生成AIの利用、行政手続きのオンライン化などについても積極的に取り組まれていることが確認できた。